

2007

10月号

商工会報

No.133



しらおいバーガー & ベーグル

7月20日から販売を開始した「白老バーガー&ベーグル」。当会員も多数参加し、10店11種類の「B&B」が町内各所で楽しまれています。テレビ局や情報誌での広告効果もあり、客足も順調だが、販売から2ヶ月余りがたち、現状と今後について検証してみました

白老B&Bの9月末販売結果は、17,485個、総売上も6,852,750円と予想を上回る結果となりました。

そこで今回は、B&B研究会事務局の(社)白老観光協会に緊急取材に伺いました。当初は、『町内で獲れる“こだわり”食材を、道産小麦を使用したパンズやベーグルに挟み、その美味しさを味わってもらおう』というのが始まりでした。「白老牛」をメインに試行錯誤の末、各店の特徴を活かしたB&Bの創造に成功した事は、その驚異的な販売個数が物語っています。消費者の約8割が、その味に満足しているという集計もあり、順調なスタートを切ったと言えそうです。

改善点としては『白老牛』を使用する事で、仕入単価が高騰し、そのまま価格に跳ね返えるという事です。価格は200円～900円で販売され、アンケート結果から、『ワンコイン(500円)』が消費者の最も買いやすい価格帯だと裏付けされており、今後いかに価格帯差を抑制するかというのが焦点となります。また、現有商品の販売ピークが過ぎ、売上が伸び悩む前に、新商品の市場投入をいかにするかという事があげられますが、反面、変えてはいけない点があるのも事実です。

今回は事業費が広告料のみで、それ以外のロゴ・のぼり・包装紙等デザインは全て“手作り”という主旨で各店に負担していただきました。商品についても“手作りで作りたい”にこだわり、季節毎の白老産食材を使った新しいB&Bを、今後もデビューさせたいと思っています。

白老B&Bを展開する上での条件は、“白老産の食材を主要食材とする”など102項目からなり、モチベーションの維持が最も重要なことだそうです。

ある個店は『魚介天ぷら』を利用したベーグルを提供していますが、このチャレンジこそ白老B&Bの“真骨頂”であり、白老町に溢れる食材をいかにB&Bに繁榮するか、会員のモチベーションを刺激しつつ現存するB&Bは、“ベーシックB&B”として各店で守り続け、更なる改良やアイデアで、次のステップに挑戦していければ、安定販売につながるのではないかと思います。そこで、“新たなB&Bの創造と構想”ですが、ありがちな『ご当地グルメ』以上の新しい試みが随所に見られます。参加会員が商品提供する事に責任を持ち、観光協会や商工会が、PRや戦略という点でサポートする。マスコミには過去に例を見ない程取り上げられ、投資以上のPR効果があったと判断できます。パンズ等食材のほとんどを白老町内で調達する事により町内循環という“経済効果”に繋がるのではないのでしょうか。単に、補助事業として取り組んだものなら、全てにありがちな“おまかせ”になっていたでしょうが、今回は、爆発的な売上げになり、各事業所でも新たな商品としてあらためて認識していただけたと思います。アメリカに「No pain No gain(痛みのないところに前進はない)」という諺がありますが、『努力なくして成功はない』ということでしょうか。評価は分かれるでしょうが、『石橋を壊れるまで叩く』のではなく、『壊れる前に渡りきってしまう』のも一つの方法だと思います。単に『発想の転換』と言ってしまえばそうかもしれません。しかし、楽をして徳をとれる時代ではないのも事実です。『観光協会も、そのノウハウを使って、B&B研究会をバックアップしますので、商工会員の皆様のご理解、ご協力お願いいたします』とのことでした。

10月以降、B&Bの新作が次々と登場します。また、新たな参加施設も随時受付しておりますので、お気軽にお問い合わせください。



問い合わせ (社)白老観光協会 山崎まで TEL(0144)82-2216

白老町商工会

〒059-0905 北海道白老郡白老町大町2丁目3番4号
TEL(0144)82-2775 FAX(0144)82-5318
URL <http://www.shiraoi-shokokai.jp/>
Eメール shiraoi@rose.ocn.ne.jp

会報委員

委員長	木村 一政	衣料のイノウエ
副委員長	波多 武光	(有)創作一心
委員	相吉 崇史	相吉商店
	久保 照美	(有)山ト花とよ
	酒井 大介	協栄自工(有)

Information

■ 会員募集

本商工会の一般会員数は、平成5年度の603人をピークに減少し、平成19年度当初は423人となっています。こうした減少が続けば地域経済活性化に悪影響があるばかりではなく、商工会の財政運営にも大きな影響が出てきます。

こうした理由から、本年度商工会の重点事業として、会員加入促進に取り組むこととしています。10月、11月を強化月間として役・職員一丸となって加入促進を行うこととしています。会員の皆様にも、同業種の方、同地区の方などに加入のお声がけをお願いいたします。

■ 青色申告会員募集

昨今の厳しい経営環境に伴い、経費削減をする事業所が増え、その矛先として会費支出の見直しという流れが主流となっております。われわれ青色申告会もその対象となり、この5年間で会員数も激減し、9月30日現在の会員数が99事業所となりました。

当会加入のメリットは数多く、そのうちのひとつとして会計ソフト「ブルーリターン」の導入にあります。会員様には定価37,800円のところ28,350円で購入できます。初期操作についても当商工会職員がご指導いたします。また、国が進める「電子申告」も電子証明に登録されるだけで、当会計ソフトから簡単に移行し、スムーズに申告ができます。是非この機会にご検討下さい。

加入申込は事務局中村（祐）まで。

■ 青年部員募集

現在部員28名で、後継者育成の場として定例会や地域活性化事業等を展開しています。40歳で卒業ですが、それまでに各種勉強や仲間作り、商売に繋がるネットワーク作り等一緒に楽しみながらスキルアップしませんか？！

自分が変わらなければ何も変わりません。輝く未来を目指して一緒にがんばる人を募集中！

詳しくは事務局伴まで・・・

■ 女性部員募集

現在部員は57名で、奉仕活動として交通安全啓発のマスコット作成・配布や雑巾寄贈、地域振興活動として町内の清掃及び花壇整備、祭りへの出店を行っています。他にもいろいろ事業はありますが、丹羽部長を中心としていつも和気あいあいとした雰囲気の中で楽しく活動しています。ぜひ一緒に活動しませんか？

■ 新会員紹介

マルタカ白老店	鶴ヶ崎 祐治さん
白老町本町一丁目十四―二十	
(有)マルイチ鈴木海産	鈴木 一雄さん
白老町字竹浦一二三―一	
(有)フォーレ白老	坂内 重人さん
白老町字竹浦六六―二	
(有)カネニフーズ	つば八白老店 熊谷 威二さん
白老町大町三丁目八―十二	
居酒屋ふる里	伏見 由美子さん
白老町大町三丁目一―九	

行事予定



◆ 会員事業所優良従業員表彰

日時 十一月二十二日(木) 十八時

場所 しらおい経済センター

内容 勤続三年から三十年までの従業員について表彰をいたします。

該当する会員事業所の皆様も是非協力願います。

募集

◆ 珠算検定

日時 十一月十八日(日)

場所 参加者数に応じ後日連絡いたします

試験級 1級〜十級 七百十円〜二千四十円

締切 十月十九日(金) 必着

◆ 簿記検定試験

日時 十二月七日(金) 十三時〜十五時

場所 道商工連研修室

(札幌市中央区北一条西七丁目プレスト一―七 四階)

試験級 三級 二千百円

締切 十月三十日(火) 必着

希望者は商工会十文字までご連絡下さい

◆ 会報記事

会報編集委員会では、会報の記事を募集しております。当委員会では、会員に役立つ会報、全会員に読んでもらえる会報を目指し、興味のある情報を発信していきたいと思っております。これまで通りの報告を出来るだけ減らし、告知等これからの情報を掲載する事と、皆様方が「この町の取り組みが凄い」とか「このイベントがいい」という情報があれば掲載し、これからの取り組みのヒントになればと思っております。

まずはお気軽に事務局中村（祐）までご連絡下さい

■ 町広報誌広告掲載



白老町から、町広報紙に商工会員の皆様のお店や会社の有料広告を掲載しませんかと要請が来ています。

既に町広報「元気」8月号からスタートしています。この有料広告は町広報紙の印刷経費に充てられ、町内の店舗、事業所、企業を広く紹介することにより、地域経済の発展を図ることを目的としています。

【公告の規格と料金の概要】（金額は税込み）

1口（1/2段：5cm×8.8cm）の場合

1ヶ月	10,500円	3ヶ月	28,350円
6ヶ月	50,400円	12ヶ月	75,600円

1ページ（26cm×18cm）の場合

1ヶ月	105,000円	3ヶ月	283,500円
6ヶ月	504,000円	12ヶ月	756,000円

なお、公告作成費は含まれていません。

詳しくは、下記までご連絡ください。

◆ 役場経営企画課企画グループ 82-4240

◆ ㈱新生広告社苫小牧支社 32-8544

■ 建設業法令順守ガイドライン



国土交通省で作成した「建設業法令順守ガイドライン」をご検討ください。詳細については下記の国土交通省ホームページに掲載されております。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/01/010702_.html

■ 各種学校の推薦



北海道酪農大学では「環境マネジメント学科」として20名の枠を設けております。商工業を将来継ぐ予定の生徒で明確な入学目標があり、自己推薦出来るだけの能力を有する者（例 生徒会及び部活動等で活躍した生徒）で、「環境マネジメント学科」専願の場合は成績を問いません。

札幌商工会議所専門学校（CA）では、商工会員の経営者もしくは従業員のご子弟が入学された場合、入学金（10万円）並びに選考料（1万5千円）を免除いたします。

くわしくは事務局十文字までお問い合わせ下さい。

《あるある豆知識 ～電子申告 e-Tax～》

『電子申告』とは、現在、書面によって行われている申告、納税及び申請・届出等について、納税者の利便性の向上を図る観点からインターネットを利用して手続きができるようにしたものをいいます。近年、パソコンやインターネットの普及・拡大に伴い、社会全体の情報化及びペーパーレス化が急速に展開しています。

今回は、平成16年6月1日から全国で利用可能になった国税電子申告・納税システム（e-Tax）について、簡単にお話します。e-Taxを利用するためには、インターネットを利用できる環境のパソコンと証明書を読み込むカードリーダーを準備し、次のような事前の手続きを行う必要があります。

1. 電子証明書の取得

電子申告を利用するには、まず、インターネット上で本人であることを電子的に証明する電子証明書を区・市役所・町村役場や法務局（法人）などで事前に取得（有料）する必要があります。これは電子認証とも呼ばれ、いわゆる印鑑や署名の代わりになるものです。

e-Taxを利用する際には、電子署名および電子証明書を添付して、データを送信します。

2. 『電子申告・納税等開始（変更等）届出書』の提出

次に、所轄の税務署に手続きをします。本人確認書類（個人：住民票の写し等）（法人：登記簿謄本等）を添付または提示して、事前に書面で所轄税務署に提出してください。この届出を行なうと、利用者識別番号、暗証番号、CD-ROM（e-Taxソフト）などが税務署から通知されます。これによって、利用が可能になります。

3. 暗証番号の変更・電子証明書等の登録

最初に、e-Taxを利用するときは、税務署から通知された暗証番号から任意の暗証番号への変更をします。当然のことといえば当然ですが、必ず暗証番号はこの時点で変更してください。事故の防止につながります。その他、初めて利用する際に、電子証明書の登録や電子納税システムに必要な納税用確認番号（任意の番号）の登録を行います。

e-Taxやペイジーを利用すれば、金融機関の窓口が開いている時間に出向くことなく、自宅やコンビニにあるETC等で国税の納付手続きが可能となるので利便性の高いサービスを受けれるという反面、インターネットそのもののセキュリティーに不安があるというのも現状です。

商工会の動き

六月十二日	労働厚生委員会
二十日	商業部会幹事会
二十一日	上川町商工会 来会
二十四日	青年部山小屋交流会
二十六日	会報編集委員会
二十六日	女性部役員会
七月十四日	建設業部会ゴルフ大会
十九日	赤井川商工会 来会
二十四日	金融審査委員会
二十五日	青年部役員会
八月 七日	青年部ちびっこフェスティバル
十七日	金融審査委員会
二十日	総務企画委員会
二十一日	理事会
二十三日	移住ビジネス創出協議会
二十四日	青年部役員会
二十五日	中間監査
九月 五日	四部会正・副部会長会議
六日	会報編集委員会
六日	商業部会委員会
七日	高知県議会 来会
九日	青年部家族会
十八日	労働厚生委員会
十九日	経改推進委員会
二十一日	工業部会幹事会
二十二日	女性部秋の交通安全啓発運動
二十六日	サービス業部会幹事会
二十八日	工業部会経営講習会

■ ちびっこフェスティバル

今回で第7回を迎える、青年部地域活性化事業「ちびっこフェスティバル」が、8月7日(火)にしらおい経済センターで開催されました。

近年は雨天開催が続いており、経済センター内で行うことが多かったのですが、この日は天候にも恵まれ久しぶりの野外開催となりました。

毎年、新たなイベントを企画していますが、今年は前売券に付けた抽選券による抽選会が行われ、当選者に焼鳥引換券やふわふわゴリラ券など多数の商品が手渡されました。



午後7時から行われた盆踊りにもたくさんのお子さん達が集まり、踊った子はおやつをもらって大喜びでした。

また、そのころから会場のテーブルも満席状態となり、終了時間の9時まで大いににぎわい、青年部最大のイベントは大盛況となりました。

■ 移住ビジネス先進地視察

北海道から200万円の補助を受けて移住ビジネス創出協議会(構成:会員4社と事務局の商工会)を組織し、ビジネス化の試行実践を行っています。

道内で、先進地とされる当別町・伊達市・函館市の視察に行ってきました。

当別町では役場を事務局に商工会等団体・企業による協議会を昨年設立しビジネス化を目指しており、不動産業・建築業に波及が見られた。

伊達市では、市内情報処理会社(移住情報発信を市から受託)やアパート経営者への波及が見られた。

函館市は移住ビジネスの株式会社を設立し営業しており、短期滞在用マンション・APの賃貸仲介、観光事業者との連携事業を行っている。

白老町では、定住する方だけではなく、毎年白老に2・3ヶ月滞在する(季節移住という)方をターゲットにして店舗紹介紙などの作成配布や有償案内人による観光施設・飲食店への誘導を図り、消費拡大を目指しています。

■ 秋の交通安全啓発運動(女性部)

9月22日(土)午前11時よりチェブ祭会場にて、苫小牧警察署白老交番、白老町交通安全協会、商工会青年部等と共催で交通安全啓発運動が行われまし



た。女性部よりかねてから100個準備していた手作りの猫のマスコットを会場内の方々に交通安全の祈りを込めて手渡しました。



■ 女性部研修報告

去る九月十五日(土)、十六日(日)に洞爺湖町にて胆振管内商工会女性部員研修会が行われ、当部より七名参加しました。一日目は室蘭人権擁護委員協議会会長三浦様の「女性と人権」についての講義を聞きました。二十年以上携わった中での実体験を元に「人権とは?」「人権を守るには?」ということをわかりやすく話して下さいました。二日目には火山科学館の視察及びハーブ蒸留体験を行いました。



白老町商工会員

429事業所 (前年比 5事業所 増) (平成19年9月30日現在)

商業部会	121事業所	(前年比 1事業所増)	工業部会	89事業所	(前年比 1事業所増)
さーびす業部会	136事業所	(前年比 4事業所増)	建設業部会	83事業所	(前年比 1事業所減)
定款会員	22事業所	(前年比 増減なし)	賛助会員	4事業所	(前年比 1事業所減)